

# 平成 25 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 酒井 高正

最終学歴	京都大学大学院文学研究科修士課程修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、日本人口学会、地理情報システム学会、日本都市学会、近畿都市学会、奈良地理学会	
専門分野	人口地理学、地理情報システム (GIS)	
研究課題	GISを利用した人口統計などの分析	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理学講読・調査法 (七) (通年)</li> <li>・ 地理学演習 (七) (通年)</li> <li>・ 地理学卒業演習 (七) (通年)</li> <li>・ 地域分析法 (前期)</li> <li>・ 人口情報地理学 (後期)</li> <li>・ GIS基礎実習 (前期)</li> <li>・ GIS基礎講座 (後期)</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人文地理学演習 I (通年)</li> <li>・ 人文地理学演習 II (通年)</li> <li>・ 先進地域特論 (通年)</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理情報システム (共同担当)</li> </ul>
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小地域統計データのGISによる活用法の考察を行いつつ、人口減少社会における都市圏人口の動向や、オープンデータ、オープンソースGISの活用法について検討を行った。</li> </ul>	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時間外の教育活動として、下記のような巡検等を実施した。</li> <li>3年次対象 (長期宿泊巡検、藤本講師クラスと合同)</li> <li>山口県の地域調査：山口市、秋吉台、萩市、見島 (9月30日～10月4日)</li> <li>3年次対象 (学外研修、藤本講師クラスと合同)</li> <li>大阪市：大阪市民の生活史と大阪港の開発史 (12月19日)</li> <li>2年次対象 (日帰り巡検)</li> <li>嵯峨嵐山と亀岡：治水、廃線跡利用事業、亀岡城下町 (12月22日)</li> <li>・ 日本地理学会「地域調査士」資格の奈良大学文学部地理学科における連絡責任者および論文審査者として、地理学科学生の資格取得促進に努めた。</li> </ul>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本学術会議 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会 地図/GIS教育小委員会委員</li> <li>・ 近畿都市学会 理事、事務局長</li> <li>・ 地理情報システム学会 代議員、教育委員長</li> <li>・ 「平成25年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」 (地理情報システム学会、毎日新聞社など) 審査委員長</li> <li>・ 「GIS Day in 関西 2013」講師 (12月7日、演題「プロローグ：統計におけるオープンデータの展開」)</li> <li>・ NPO法人電子自治体アドバイザークラブ (地理学科との共催) 「オープンデータとオープンソースGIS」ワークショップ 座長と講師 (3月11・18・25日、演題「基調講演：オープンデータとオープンソースGISの展開と地域人口分析」)</li> </ul>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報処理センター兼任教員</li> <li>・ 文学部教務委員会委員</li> <li>・ 全学教務委員会オブザーバー</li> <li>・ 情報処理センター運営委員会委員</li> <li>・ 情報教育検討委員会委員</li> <li>・ ホームページ企画委員会ワーキンググループメンバー</li> <li>・ サイクリング倶楽部顧問</li> <li>・ 教育職員親睦会幹事</li> </ul>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
① 2010年国勢調査にみる大都市圏の人口変動	単著	2014年3月	奈良大学紀要42号	2010年国勢調査の集計結果などから、大都市圏の人口増減の各種分析により、日本の最近年の人口変動状況を概観した。(113～120頁)
② 人口変動と都市圏構造	単著	2014年3月	『都市構造と都市政策』近畿都市学会編、古今書院	日本の人口減少社会への移行時期を検討したのち、京阪神大都市圏を中心に、人口増減状況の統計及び空間分析を行った。(45～51頁)
(学会発表)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①				
②				
③				
④				
⑤				